

ほっと

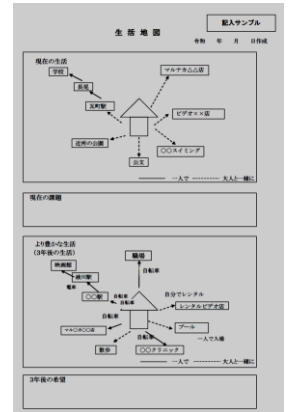
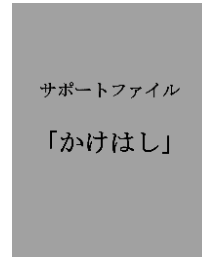


香川県立香川東部養護学校 支援教育部 2021.9.24発行

～生活地図と個別の教育支援計画～

入学時に書いていただく書類として、「個別の教育支援計画Ⅰ・Ⅱ」「生活地図」があります。

「生活地図」は3年ごとに記入していただくことになっています。現在の生活、現在の課題、そして、より豊かな生活（3年後の生活）、3年後の希望を書くようになっていきます。3年後の希望の欄には、小学部4年生なら、「中学部進学」、中学部1年生なら「高等部進学」、高等部1年生なら、「就職」「福祉施設」「入所」「一人暮らし」などが記載されると思います。すなわち、高等部入学生なら、3年後は卒業しているわけですから、高等部の生活地図のメインの行き先が、**学校**ではなく、**会社**だったり、**〇〇の仕事**だったり、**福祉事業所**だったり、**入所施設**だったりするわけです。起点となる家がグループホームになるなど、生活の中心が変わることもあるでしょう。通勤手段も考えないといけません。店名や親戚はよく記載されていますが、医療機関も大切な行き先ですね。散髪屋はどうでしょう。慣れたところに一人で行って利用できることは、大人になって生きていくうえでとても大切なことです。自分で移動できると、世界が広がります。3年後とはありますが、中学部のときから、6年先の地図はどうしようと、家族で話題にし、イメージしておく、そこまでのステップも組みやすいでしょう。



「生活地図」については、なかなかお話する機会もなかったのですが、子どもたちそれぞれの人生の設計図と思って作っていただくのがいいと思います。3年間はあっという間です。2年目、3年目は、設計図の確認をして、変更があれば記入しましょう。活用可能な地域支援が入っているか、ということも重要なポイントです。相談支援員さんに見せて情報をもらうのもよいでしょう。

その流れでいくと、個別の教育支援計画Ⅱは、羅針盤である3年後の「生活地図」をもとにして、目標設定されるとよいと思います。目標は長期的な視点で設定すると、今年の方針といったステップも組みやすいです。同じ目標が3年間続いてもよいのです。

食事・排せつ・着替えなどの身辺自立や移動能力、集団参加力、自己統制力は、将来、いろいろな職場や福祉事業所を安定して利用するときのために高めておきたいスキルです。コミュニケーション力や移動能力、作業能力（道具の使用、パソコンの操作や簡単な調理、電気製品の扱いなど）は、生活を豊かにするために広がりを持たせておきたいスキルです。生活を広げる親子のかかわりは、外出が難しいコロナ禍の中だからできることかもしれません。また、今の福祉の流れでは、本人が何がしたい、どうしてほしいかを表明できる力も大切になってきています。

子どもたちの将来の生活地図を豊かにするための軌跡が、個別の教育支援計画Ⅱに描かれていくといいですね。子どもの支援者である保護者のみなさまが、学校、福祉、医療などの関係機関に「かけはし」を持ち歩くことが、将来的に活用できたという実感につながるものだと思います。

令和3年度特別支援教育コーディネーター 小学部(住田) 中学部(揚) 高等部(山田た)

教材・教具の紹介

各学部のアイデアあふれる自作教材です。一部を紹介します。

【生活全般】〈丁寧に手を洗おう!〉



手洗いの手順を学ぶための教材です。写真を大きくしているため、手の動きが分かりやすいです。見える場所に掲示し、手洗いの歌を歌いながら取り組むことができます。

【生単・数学】〈数を数えてみよう!〉



人が数を数えるのを聞くことが苦手な生徒が、数を楽しく学ぶために作られた教材です。手遊び歌とともに使用するので、歌いながら学習に取り組むことができます。

【生単・保健】〈身体の中はどうなってるの?〉



体の仕組みを知ることができる教材です。体の中の器官を一つずつ見て、手に取って触って、配置して、名前や場所をチェックすることができます。それぞれの器官の働きを学習しながら、視覚的に体の中を見ることができます。

【国語・生単】〈ふくわらいをしよう!〉



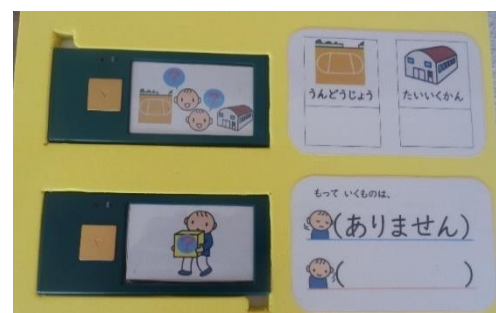
顔のパーツや位置を学ぶための教材です。最初に対面した指導者の顔を見るように促し、目や鼻などの位置を確かめます。イラストの中に平仮名を入れているので、文字の勉強にもなります。

【生単】〈パーソナルスペースを知ろう!〉



人との適切な距離を学ぶための教材です。中学生になり、友達や指導者と一定の距離が必要になります。しかし一定という曖昧な言葉では分かりにくいので、視覚的に距離を見えるようにしました。

【生活全般】〈教えてください～係活動編～〉



連絡係として、担当の指導者の所へ行って次の授業の準備物や場所を聞く活動に使用しています。ボタンを押すと、録音した音声流れます。その他にも使い方は様々です。いろいろな人に聞くこと、伝えることができたらうれしいですね♪